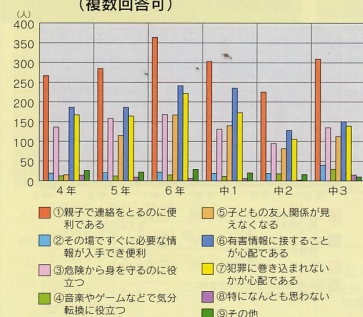


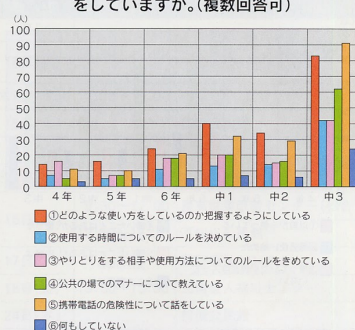
問4 子どもが携帯電話を使うことについて、あなたはどのように思いますか。(複数回答可)



携帯電話については、「親子で連絡を取るのに便利」とその利点を挙げる回答が最も多いのですが、「子どもの友人関係が見えなくなる」「有害情報に接することや犯罪に巻き込まれないかが心配」と不安に感じている親が多いことが分かります。



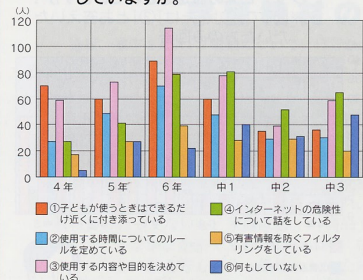
問3 あなたのご家庭では、お子さまの携帯電話の利用に関して、次のようなことをしていますか。(複数回答可)



携帯電話に対する家庭の関心度では、使用頻度が多くなるにつれ保護者の不安が高まるせいか、ルールやマナーについても家族で話をするようになっていきます。



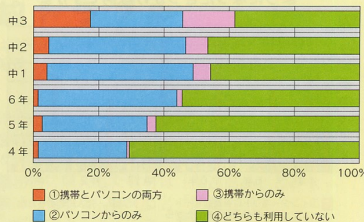
問6 あなたのご家庭では、お子さまのパソコンの使用に関して次のようなことをしていますか。



「近くに付き添う」は小学生の親は多いが、中学生になると少なくなります。「インターネットの危険性」の話をしている家庭も多いですが、その危険性を軽減する具体的な手立てであるフィルタリングしているところは少ないようです。子どもに自由に任せ、「特に何もしていない」家庭も多いようです。



問5 お子さまは、パソコンと携帯のどちらからインターネットを利用していますか。



世界中のあらゆる情報を得ることができる反面、一歩誤ると犯罪やトラブルに巻き込まれる可能性を秘めるインターネット。子どもたちが持つ携帯電話からもインターネットに接続できます。

インターネットの利用は高学年になるに従い多くなります。中学3年生になると3割以上が携帯電話からもインターネットを利用しています。



子どもたちを守りたい。

子どものインターネット利用実態調査アンケート結果



調査対象	宇城市立小・中学校の児童、生徒の保護者 (小学校児童は4年生以上)
調査期日	20年2月28日現在
アンケート配布数	3,566
アンケート回収数	2,381
回収率	67%

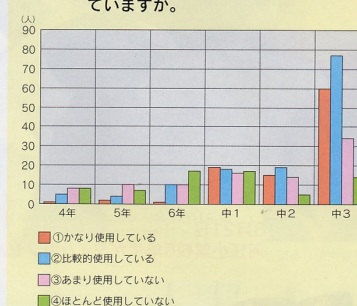
現在、子どもがインターネットや携帯電話の利用を通じて巻き込まれる犯罪やトラブルが大きな社会問題となっています。宇城市教育委員会では、このようなサイバー犯罪から子どもを守るため、保護者のインターネットに対する理解度やフィルタリングソフトの認知状況、意識などの調査を行うと共に、家庭へのフィルタリングなどの普及啓発を目的として、調査を実施しました。

「サイバー犯罪」不正アクセス、オンライン詐欺、コンピュータウイルス、児童ポルノ、著作権侵害など、コンピュータやインターネットに関連する犯罪

「フィルタリング」いかにわしいサイト・犯罪に巻き込むサイトなど、子どもの教育上良くないサイトを見せなくするサービス。携帯電話の各種設定メニューから無料で設定できます。詳しくは、最寄りの携帯電話販売店などにご相談ください。

宇城市教育委員会
032-1907

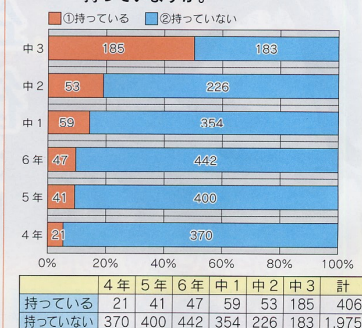
問2 お子さまは、携帯電話(メール送受信を含む)をどのくらいの頻度で使っていますか。



携帯電話の使用頻度は中学生になると増加します。特に、中学3年生では、使用頻度が急増しており、約3分の1が「かなり使用している」と答えています。問1の携帯電話の所持率が急増するのでも中学3年生です。



問1 あなたのお子さまは携帯電話を持っていますか。



全体の約17パーセントが「携帯電話を持っている」と答えています。

中学3年生では、半数以上が持っていますが、これは高校進学が多分に影響している(「高校に合格したから」「中学では必要なかったが、高校では必要だろう」と推測できます。

